



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

注意深く綿密に

住職 平田真純

スポーツその他、相手のある勝負^ぶとは、ある意味、攻めては守り、守っては攻めの繰り返しでありましよう。やみくもに突っ込んでいっても自滅することが多く、守ってばかりではズルズルと負けになってしまいます。有利に持ち込むには、攻めながら守りを念頭に置き、守りながら攻めの糸口を探る、というような攻防一体の技術も必要となってきます。技術だけでなく、余計な雑念のない、沈着冷静な精神力も大切です。

聖天様を信仰・参拝されている方の中には、そのような実生活や実戦での精神的な効果を期待されている方も多いのではないのでしょうか。そこで、どのような参拝・勤行^{おつとめ}が効果的であろうかと考え始めるではありません。もちろん一律的な答えはありませんが、一つの参考として、天台宗開祖の天台大師智顛^{ちぎん}が書かれた座禅指南書「天台小止観^{しょうしかん}」の中の三事調和^{さんじちやうわ}（身・息・心を調和させること）の説明の中に、次のような一文があります。

「第一に、禅に入るときに三事を調えるとは、われ

われが三昧に入ろうと思ったら、まず体をよく調えなければならぬ。坐禅を始める前から、歩くにも立ち止まるにも進むにも止まるにも、動くときも静かにしているときも、なにかをしているときも、一々がみな注意深く綿密であるがよい。もし動作が粗雑であれば、息づかいもそれだけみだれる。息づかいがあらいと、心もみだれておさめにくくなる。……」

（現代語訳 天台小止観 関口真大訳）

参拝の際にも、すくなくとも境内に足を踏み入れた時から、一つ一つの動作に細心の注意を払うことで集中力が増し、御本尊への気持ちの入り方も変わってきます。立ったり座ったりの動作も丁寧に心がけ、お供え物をするときも、経本や数珠^{じゆず}などの仏具を扱うときも、指先にまで神経をいきわたらせることで、心も充実し、参拝後はすがすがしい気分になることでしよう。そしてそれが実生活での精神に良い影響を及ぼすことは間違いありません。勝負や実利を超えて、慈悲心の発露にもなっていくのでしよう。参拝に限らず、作法というものはそういうものではないでしょうか。

「注意深く綿密に」を実行していただき、より大きな功德をお授かりいただければ幸いです。

待乳山だより

お正月の風景より

元日、午前零時の開堂と共に堂内は初詣の方で賑わい、参拝者のみなさんには世話人のご奉仕でお屠蘇が振る舞われました。今年は大変暖かいお正月となり、たくさんの方が当山に足を運ばれ、ご宝前にはお供物の大根がうず高く供えられていました。

三が日には本堂で特別祈禱が行われ、太鼓が鳴り響く中、行者が皆様の新年の開運を祈願いたしました。



大根まつり

一月七日、毎年恒例の大根まつりが執り行われました。

本堂で大般若法要を厳修した後、境内にて風呂吹き大根とお神酒の接待が始まりました。お正月にみなさまからお供えされた大根を、有志の信徒がやわらかく茹で、当山特製のゆず味噌をつけた風呂吹き大根は大好評。なんと聖天公園の向こう側まで、大根を求める方の行列ができました。その模様は、新聞や朝の情報番組にも浅草の名物行事として紹介されました。

約二千食用意した風呂吹き大根も午後にはほぼなくなり、今年の大根まつりも大盛況のうちには終了いたしました。



お宮参り

十二月十九日、中嶋あん納ちゃんのお宮参りを行い、ご宝前でお加持を授けられました。尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。

ご奉納

松本達郎様より提灯を二張御奉納いただきました。

画家の谷川泰宏様からは、千支福絵を今年もご奉納いただきました。ロビーに展示しておりますので、どうぞご覧ください。



朝まいり会 一月度表彰者 (敬称略)
半年 進藤一女
一年 古川智之

節分会大法要

二月三日（水）午後三時 節分札一組 五〇〇円

福豆一合枵 五〇〇円 福豆一升枵 三、〇〇〇円

この一年の厄を払うため、午後三時より節分会法要を執行いたします。本堂内や境内で年男のみなさんが福豆や福餅をまきます。当山では「福は内」とだけ掛け声を発します。なぜならば聖天様が守護されている霊山であるため、悪鬼がいなかったためです。そのため「鬼は外」と唱えないのが、古来からの風習となっております。

当日は浅草寺一山の御住職方が本堂に入堂し、今年一年分のお経をお唱えして節分札をお加持いたします。このお札をご自宅での豆まきが終わりましたら、家の中から外側に向かって左に「節分」、右に「立春」の札を向かい合わせにお貼りください。今年一年の厄が家の中に入ることを防ぐといわれております。

参道ではお神酒も無料でふるまわれますので、皆様お誘いあわせの上、ご参拝ください。



浴油講

二月二十日（土）午前十一時

講金 一、五〇〇円（奉納）胡麻油一斗缶一五、〇〇〇円

毎朝の浴油祈禱に用いる胡麻油を、広く皆様からご寄進を募るために浴油講を執行いたします。

聖天様をご供養する最上の方法と言われます浴油祈禱には、最上の胡麻油が必要です。浴油講では皆様にお申し込みいただいた講金を胡麻油代に充てさせていただきます。

講に申し込まれた方には家内安全、商売繁盛と祈念したお守りとお供えした胡麻油をお授けします。聖天様との縁を深めるためにもぜひお申し込みください。



一月行事予定

節分会

二月三日(水) 午後三時

節分札一組

五〇〇円也

僧侶が一年分のお経をお唱えする中、年男による豆まきが行われます。

福升(福豆付) 一升枧

三、〇〇〇円 一合枧 五〇〇円

浴油講大法要

二月二十日(土) 午前十一時

講金 一、五〇〇円也

毎朝の浴油祈禱に使う胡麻油をお供えします。

朝まいり会

二月一日〜七日 午前八時から八時半 会費

月 五〇〇円也

都合のよい日にご参加ください。最終日には、お勤め終了後に食事作法を行います。

日曜勤行

二月十四日(日) 午前九時

参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

二月十四日(日) 午前十時/午後二時 会費

五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

夜間開堂 法話とおつとめ

二月二十七日(土) 午後六時〜八時 参加費 無料

今日は、午後七時よりおつとめと法話を行います。

合同大般若法要

二月二十五日(木) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒に仕上げする御礼の法要です。

三月の行事

稲荷祭 三月十三日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

婦人講 三月二十日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壹万円以上(一週間)

浴油祈禱 三千五百円以上(一週間)

華水供 五百円/一日